

江戸川区立松江第六中学校



学校だより

令和6年11月5日 第7号

江戸川区立松江第六中学校

校長 小野満 賢

あの鐘を鳴らすのは

校長 小野満 賢

あの鐘を鳴らすのはあなた
阿久 悠 作詞
森田公一 作曲

あなたに逢えてよかった
あなたには希望の匂いがする
つまずいて傷ついて泣き叫んでも
さわやかな希望の匂いがする
町は今眠りの中
あの鐘を鳴らすのはあなた
人はみな悩みの中
あの鐘を鳴らすのはあなた

あなたに逢えてよかった
愛しあう心が戻って来る
やさしさやいたわりやふれあう事を
信じたい心が戻って来る
町は今砂漠の中
あの鐘を鳴らすのはあなた
人はみな孤独の中
あの鐘を鳴らすのはあなた
町は今眠りの中
あの鐘を鳴らすのは あなた
人はみな悩みの中
あの鐘を鳴らすのは あなた

毎年開催されている全日本中学校長会研究協議会が、今年度は私の故郷である岩手県の盛岡市で開かれ、縁あって10月17日から一泊二日で参加してきました。大会資料によると全国から1,700人を超える校長が集まったそうです。

最終日にメイン会場で行われたアトラクションで、地元の町立中学校の合唱部が合唱を披露しました。その中の一曲「あの鐘を鳴らすのはあなた」に私は強烈に心を揺さぶられ、しばらく涙が止まらなくなってしまいました。

この曲は和田アキ子さんの代表曲で、大晦日の紅白歌合戦で何度も歌われているので、生徒の皆さんの中にも知っている人は多いと思います。私はこの歌詞について、『恋人が好きな相手を称えているもの』と長らく思っていて疑いもしませんでした。ところが今回、中学生が歌っているのを聴いて、認識を改めざるを得なくなりました。「あなた」は、この歌を歌っているあの中学生自身であり、ひいてはこの国や世界の未来を託された子どもたちなのだろうと感じたのです。

ご存じの通り、岩手県は2011年の東日本大震災で、沿岸部では場所によって20メートルを超える大津波が襲い、

実に6,000人以上の尊い命が犠牲になりました。また25,000棟もの家屋が倒壊したり流されました。私が幼い頃に海水浴に行った陸前高田も大船渡も釜石も海岸沿いにあったものは全て流されました。今では高い堤防が築かれ、高台に住宅を建設するなどの再開発をしており、昔の面影はどこにもありません。人口減少も歯止めがかからず、あれから10年以上たった今も復興の途上にあります。

ちょうどその震災の頃、とても大変な時期に生まれた子どもたちが中学生となり、のびやかにこの歌を歌っていたのです。復興のために努力している地元の方々にとっても、子どもたちはまさに希望の光なのだと思います。

東京に戻り、翌週の月曜日に出勤してしばらくすると、合唱の音が聞こえてきました。この日から朝練習が始まったのです。どのクラスもリーダーが中心となり、生徒たちどうして声を掛け合い、自分たちの合唱を創り上げていきます。どの顔も真剣ですが、とても楽しそうです。教室を周り、そんな生徒たちを眺めていたら、私は無意識にあの曲の最初のフレーズを口ずさんでいました。そして、松江六中



の生徒たちに出会えて本当に良かったと改めて思いました。松江六中の生徒たちも育った場所は違えども、故郷・盛岡で会った中学生と同じように、これからの未来を託されています。

「鐘を鳴らす」とは、「夢や希望が叶う」ということだと私は解釈します。

「先の見えない世の中、これからも悩みは尽きないし、孤独を感じることもあるけれど、たとえつまずいても、傷ついても、諦めずに希望をもって生きていけば、あなたは自分の夢や希望をきっと叶えられるのです。」

この言葉を松江六中の生徒の皆さんに贈ります。



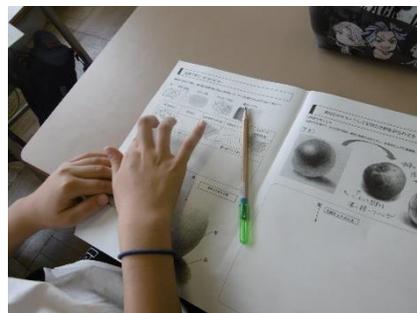
松江六中第49回文化祭 10月26日(土)に無事終了しました。 ご理解・ご協力をありがとうございました。

※文化祭の様子は、アンケート結果と共に次号(第8号 12月2日発行予定)に掲載します。

西一之江小への出前授業 10/3(木)美術・10/4(金)社会

毎年2学期の中間テストの時期に小中連携事業の一環で「英語」と「数学」の出前授業を行ってきましたが、今年度から色々な教科の授業を体験してもらおうと、教科の枠を取り払い、輪番で行うことにしました。10月3日(木)は美術科の飯岡教諭が、4日(金)は社会科の岡島教諭が西一之江小学校へ出向き、6年生の各クラスで授業を行いました。

美術では鉛筆を使ったデッサンの手法を学び、その後左上から光が当たった球を描く授業を行いました。児童たちは濃淡をつけて影と陰を描くことで立体的に見える面白さを体験し、手を真っ黒にしながらか、夢中になって取り組んでいました。一番暗くなるころはどこなのか、光が当たるところの輪郭線をどうしたらいいのかなど、飯岡教諭がひとりひとりの球を見て回りながら細やかにアドバイスしていきます。上手に描けた児童の作品を幾つか取り上げ、皆に見せると歓声が上がっていました。最後にワークシートに感想を書きましたが、一人一人が自分の考えをしっかりと書いており、美術の授業をととても楽しめた様子が伝わってきました。



社会では、童話「3匹の子ぶた」を題材に、三男の子ぶたが、煙突から侵入したオオカミを熱湯の入った大鍋で殺めたことは正当防衛で無罪か過剰防衛で有罪かを裁判員裁判によって審議するという授業でした。事前に選ばれた弁護士・検察官・被告・オオカミの母役が役になり切ってセリフを読んでいます。裁判長役の岡島教諭が進行役を務め、本物さながらに裁判を進めていきます。児童たちはまずは個人で考え、次にグル



ープで話し合い、グループとして有罪か無罪かを決め、最終的に多数決で決めるという流れでした。どのクラスもグループの中で活発な話し合いが行われ、結果的に有罪か無罪かが割れていました。「正解」の無い裁判は難しいけれど、いつか抽選で裁判員に選ばれるかもしれないという話を聞き、裁判を身近に感じられたのではないのでしょうか。

美術も社会も集中して授業に臨んでいる児童の姿が印象的でした。



2年鎌倉校外学習 10/11(金)

10月11日(金)、2学年の鎌倉校外学習が実施されました。この校外学習に向けて動き出したのは、遡ること5月です。事前学習として、鎌倉の有名なお寺などを学級の生徒で分担し、1ヶ所ずつ調べ1枚のプリントにまとめました。そして6月からは、この行事のポイントとなる「班別行動計画」がスタートし、それぞれが見学地やその見学順序を何度も話し合いました。班別行動計画を教員がチェックしてみると、「それはさすがに無茶でしょう」と思ってしまうような計画がいくつもありましたが、班で訂正に訂正を重ね、どの班も現実的に考えて問題ないだろうと考えられる行動計画を作成することができました。

このように多くの準備を経て、いよいよ迎えた当日。天気にも恵まれ、すべての班が時間通りに一之江駅を出発し、鎌倉に向かうことができました。

鎌倉に到着してからの班別行動中は、昼食場所があまりにも混んでいて、やむを得ず別の場所で昼食をとらなければならないというハプニングもありましたが、どの班もおおむね計画通りに鎌倉を周ることができました。初めて鎌倉へ行ったという生徒も多く、実際に鎌倉の有名なお寺などを目の前にし、肌で感じ、圧倒されたり感激したりする人が多かったのではないのでしょうか。

鎌倉に限らず日本には、歴史を感じることでできる地域がたくさんあります。修学旅行で行く予定の京都もその一つです。今後もそのような場所へ直接足を運び、直接見て、直接聞いて、魅力を味わってほしいと思います。

さて、終わってみると、大きな成果もありましたが、決して見過ごすことのできない大きな課題が明らかになった行事となりました。これからも、チャレンジ・ザ・ドリーム、スキー教室、そして3年生の修学旅行と校外で行う行事が続いていきます。どんなときでも自分自身で善悪の判断をつけ、正しい行動ができ、信頼してもらえる人になってください。皆さんの成長を心から期待しています。

(文責：2学年 校外学習担当 中村 大鵬)



六中まつり 10/12 (土)

少しだけ夏の暑さの名残を感じさせた秋晴れの下、今年も無事に六中まつりを開催することができました。昨年にも増して多くの小学生や六中生が来場し、会場内は笑顔と歓声であふれていました。

会場では、生徒会本部によるドリンクの販売やスタンプラリー、ハンドボール部のストラックアウト、女子ソフトテニス部のストラックアウト、科学部のスライム作り体験、吹奏楽部の演奏など色々なアトラクションを松江第六中学校の生徒が企画・運営しました。企画の段階では、「どうすればお客さんにより楽しんでもらえるか」をコンセプトに、生徒会本部では去年のドリンクの売れ行きから小・中学生に人気が出そうな商品を自分たちで注文したり、女子ソフトテニス部ではストラックアウトの的を新たにデザインしたり、事前にシミュレーションを重ねたりして各部が多くの時間を費やして準備を進めました。

六中まつりは、当日の会場運営だけでなく、見えないところで多くの方にご協力をいただきながら開催されています。前日に会場のテントを設営してくれた陸上部、バスケットボール部、女子ソフトテニス部、当日の片付けを手伝ってくれた生徒や卒業生、誰もが楽しめる六中まつりを企画して下さったPTAや地域の方々…多くの方が力を出し合いながら一つのまつりを支えているからこそ、楽しい六中まつりが毎年開催できるのだと感じています。いつも本当にありがとうございます。

今後も地域を活気づけられるような六中まつりを開催できるように、PTAと力を合わせながら尽力していきます。(文責：生徒会担当 田中 将一)



生徒会のドリンク売り場は常に長蛇の列ができており、猫の手も借りたいほどでした。



今年は宇宙海賊ゴー☆ジャストと、ベニテングダケが参戦。六中まつりを盛り上げました。噂ではピカチュウも校庭をうろうろしていたそうです。会うと幸せになるという話があるとか。



吹奏楽部の発表に大勢の方が集まりました。会場が一体となって盛り上がりました。

後期専門委員任命式 10/15 (火)



10月15日、体育館において、先日の選挙で承認された生徒会本部役員(前号で掲載)と後期の専門委員の任命式が行われました。これを機に学校の中心がいよいよ2年生に移ります。意を決して初めて生徒会役員や委員会に挑戦する生徒もいるでしょう。分からないことや、進行がうまくいかないこともあると思いますが、その時はスーパーバイザーである3年生の先輩からの助言を参考にしながら進めていきましょう。生徒会役員や専門委員の皆さんは、新しい視点で様々な取組のアイデアを出し、委員会で十分に検討したうえで実践して欲しいと思っています。そしてまた、松江六中をより良いものにするためには、松江六中の生徒全員の協力が必要です。皆さん一人一人の高みを目指す意識と行動力、それが学校をより良くしていくのだと信じています。

	委員長	副委員長	書記
1年学級委員会	(1-1)	(1-2)	(1-3)
2年学級委員会	(2-1)	(2-1)	(2-2)
3年学級委員会	(3-1)	(3-3)	(3-2) (3-3)
生活委員会	(2-1)	(2-1) (1-2)	(2-2) (2-2)
整美委員会	(2-3)	(2-1) (1-3)	(3-3) (2-2)
保健委員会	(2-3)	(2-2) (1-1)	(3-3) (1-1)
給食委員会	(2-1)	(2-1) (1-3)	(2-2) (2-3)
図書委員会	(2-3)	(2-2) (1-1)	(2-1) (2-2)
放送委員会	(2-3)	(2-1) (1-2)	(3-1) (2-2)

(敬称略)

生徒会本部役員と校長との懇談 10/22 (火)

10月22日(火)の昼休み、令和6年度後期から7年度前期まで務める生徒会本部役員7名を校長室に招き、懇談会を行いました。「周りから何と呼ばれているか」「所属している部活動」「今ハマっていること」や「推し」などを言ってもらい自己紹介に続き、どうして生徒会役員になろうと思ったのか、生徒会役員として松江六中をどうしたいのかという話や、50年目を迎える来年度にはどんなことをしたいかなどをざっくばらんに話してもらいました。どうして生徒会役員になろうと思ったのか、という質問に、「前生徒会役員の活躍を見て憧れ、自分もやってみたいと思った」と複数の生徒が答えていたのが印象的でした。先輩の影響は絶大です。

校長からは、新たな視点で様々なことに挑戦して欲しいことと、松江六中を「あいさつ日本一」の学校にするためにはどうしたらいいか考えて欲しいという話をしました。

学校の顔として様々な場面で活動してもらうことになります。
一年間よろしくお願いします。



学年弁論大会 10/9 (水) 2年生、10 (木) 3年生、16 (水) 1年生

学年弁論大会が上記の日程で行われました。各クラスでの弁論大会の中から選ばれただけあり、緊張の中にも堂々と自分の考えを述べていました。それぞれの目の付けどころや切り口が斬新で、自分の考え・主張を裏付けるために十分なリサーチをし、データをもとに内容を組み立てている生徒が多かったです。自分の体験や実際に見聞きしたことをもとに考察し、持論を展開しており、なかなか説得力がありました。聞いている生徒も「なるほど」と思うことが多かったのではないのでしょうか。

忙しい時期での学年弁論大会だったので、代表生徒も読み込む時間が足りなかったかもしれません。やはり聞き手に訴えるためには、内容ももちろんですが、声のトーンや強弱、そして視線が大事になってきます。次年度に向けてそういうことも意識できるといいかもしれません。18人の弁士の他、会の準備や片付け、当日の司会進行を担当した各クラスの国語係さん、お疲れさまでした。

3年生

最優秀賞 3組

- 優秀賞 1組
- 優秀賞 1組
- 優秀賞 2組
- 優秀賞 2組
- 優秀賞 3組

「失敗と不安」

- 「生活の中で大切なこと」
- 「その備え、十分ですか」
- 「自分らしく生きる」
- 「キーワードは『使い方』」
- 「自然と生きる」



2年生

最優秀賞 3組

- 優秀賞 1組
- 優秀賞 1組
- 優秀賞 2組
- 優秀賞 2組
- 優秀賞 3組

「スポットライト」

- 「テストでよい点数をとる方法」
- 「因果応報」
- 「技術向上のためには」
- 「私達の未来」
- 「努力するということ」



1年生

最優秀賞 1組

- 優秀賞 1組
- 優秀賞 2組
- 優秀賞 2組
- 優秀賞 3組
- 優秀賞 3組

「課題やテストの在り方」

- 「ペットを飼う」
- 「ソフトテニス もっと強くなるためには」
- 「日本の選挙の実態」
- 「食の危機」
- 「地震大国『日本』」



(敬称略)

ふるさとまつり 10/27 (日)

10月末とは思えぬほどの暑い日が差す時もあり、急に雲がかかり小雨が降る時もあるはっきりしない空模様でしたが、今年も松江第五中学校の校庭をメイン会場にして、中央・一之江ふるさとまつりが行われました。神輿や近隣小学校の鼓笛隊などが練り歩き、特設ステージではダンスや吹奏楽・和太鼓やフラの発表が続きます。たくさんの模擬店が並び、校舎内で衆議院議員選挙の投票が行われているとは思えないほどの賑やかさでした。文化祭の翌日という日程ながら、本校からは7名のボランティア生徒がアミューズメントやゲーム遊び、スポーツ・チャレンジの手伝いをしました。また、町会の一員と

して参加していた生徒もいました。

校庭に出店していた本校のPTA本部役員の皆さんは、ドーナツと飲み物を販売しましたが、昨年より多く仕入れたにもかかわらず、午後の早い時間に完売しました。



町会の一員として参加

PTA本部役員の皆さん

ボランティア生徒 (敬称略)			
(2-1)	(2-1)	(2-2)	(2-3)
(1-1)	(1-2)	(1-3)	



特設ステージでは午後1時頃に吹奏楽部が参加しました。「怪物の花唄」「Happiness」「シユガーソングとビターステップ」アンコールで「ケセラセラ」と「青と夏」を披露しました。文化祭とは全く違うセットリストで、MCも演出もニューバージョンでした。松江五中の吹奏楽部の生徒たちが舞台横に並び、手拍子をして会場を大いに盛り上げてくれたのが印象的でした。この日が3年生と演奏する最後の機会となりました。

働くことについての講話 (2年) 10/30 (水)

11月28日(木)からのチャレンジ・ザ・ドリーム(職場体験)に向けて、事前学習もいよいよ大詰めを迎えています。10月30日(水)には、今回お世話になる42の事業所を代表して、「社会保険労務士法人 人事給与」から山本昌之様にお越しいただき、体験に際しての心構えだけでなく、広く「働く」ということについてお話しいただきました。



まずはじめに、チャレンジ・ザ・ドリームを楽しみに思っている生徒がどれくらいいるかを確認したところ、全体の約4割が手を挙げました。残りのメンバーは楽しみな気持ちよりも不安の方が強いようです。そんな生徒の緊張を解きほぐすかのように、ご自身が六中生だった頃の学校の様子や思い出を語られつつ、3年後・5年後の自分の姿はイメージしやすいが、10年単位になってくると社会のことも自分のことも想像するのが難しい。そんな中で夢を持てるのは素晴らしいことだと励ましていただきました。そのうえで、職業の多様性に目を向けつつ、「人が働く意味」や「働き方」などについてわかりやすくご講演いただきました。

特に盛り上がったのは給料に関するお話で、税金や保険料が引かれることで実際に自分が自由に使えるお金は減ってしまうことや、それが他の人のために使われていることなどを、寸劇を交えながら楽しく学ばせていただき、目を見開いて真剣に聞き入る姿が多く見られました。

最後に、働くにあたって一番大切にしなければならないのは「主体性」であり、自分でやるべきことをみつけ、積極的に動く力が求められている。チャレンジ・ザ・ドリームでは、指示されたことをやるだけではなく、常に「次は何をしましょうか？」と自主的に動こうとする気持ちを忘れないでほしいとご指導いただきました。講演後のお礼の言葉で、生徒会長の さんが「指示待ちを脱し、自ら動く5日間にしたい」との力強い決意を伝えると、講師の山本様も嬉しそうに頷いておられました。

(文責：2学年主任 池尻 辰雄)

11月の行事予定

日	曜	行事予定	給食	日	曜	行事予定	給食
11/5	火	全校朝礼	○	19	火		○
6	水	区中研一斉研究日(教科)	○	20	水	期末考査始	×
7	木	専門・中央委員会	○	21	木		○
8	金	漢字検定	○	22	金	期末考査終	○
9	土	P実行委員会		23	土	勤労感謝の日	
10	日			24	日	ESAT-J YEAR3(3)	
11	月	生徒会朝礼 移動教室保護者説明会(2)	○	25	月	朝礼 安全指導 第3回実力テスト(3)	○
12	火		○	26	火		○
13	水	期末考査一週間前	○	27	水		○
14	木		○	28	木	チャレンジ・ザ・ドリーム始(2)	13
15	金		○	29	金	校外学習(1)	3
16	土			30	土		
17	日			12/1	日		
18	月		○	2	月		13

【江戸川区からのお願い】

区のこれからのサービスや負担の在り方に関して、区民の皆さんから広く意見をお聞きするためのアンケートを実施しています。区が今後目指すべき方向性について、誰もがあまり触れたくないことも正直にお伝えした上で、区の考えをお示ししています。

10月下旬に全戸配布している広報えどがわ特別号や説明動画をご確認いただき、回答をお願いします。

説明動画や回答フォームはこちら→

